



田川で迎える春 母国への思い募る1年



昨年の3月に、ロシア軍からの攻撃を受けたウクライナから母娘2人で田川市へ避難してきたエカテリーナ・チャプリン



シカさん。市内在住の親戚や地域のみなさんからの温かい支援の中で自立の道を歩み、子育てと仕事に勤しむ傍ら、ウクライナの状況や文化を伝える活動をしたり報道機関からの取材に応じたりなど、忙しい日々を過ごしています。エカテリーナさんは現在、市内のいちご農園で収穫や出荷などに携わっており、2月17日に市役所玄関前で自身が収穫したいちごを限定販売。ウクライナの伝統衣装を身に着けたエカテリーナさんは一人ひとりに丁寧にいちごを手渡し、受け取った人たちは「慣れない土地で働くことは大変ですが、希望を持って頑張してほしい」などと励ましの言葉をかけていました。また、2月22日には、いちご農園を運営する社会福祉法人猪位金福祉会のみなさんが、二場^{ふたばきぎと}公人市長を表敬訪問。本市ふるさと納税返礼品などとして出荷しているいちご「あまおう」の収穫状況などを報告しました。同席したエカテリーナさんは、時折日本語を織り交ぜながら「田川のみなさんが優しく接してくれてありがたく感じています。今でも母国への思いは変わらず、戦争が終わることを願っています」と心境を語りました。



① 1月8日・奈良区
どんど焼きに参加



①燃え上がる炎を見つめながら母国の平和を祈りました②③餅を丁寧に丸めるエカテリーナさんと、つきたての餅に舌鼓を打つ娘のアナスタシアさん④匿名の市民から託された支援金を二場市長が手渡しました

ウクライナ人道危機救援金

ウクライナでの人道危機対応およびウクライナからの避難民を受け入れる周辺国などにおける救援活動を支援するため、救援金を受け付けています。令和5年2月28日までに785,264円もの救援金が寄せられました。温かい善意に心からお礼を申し上げます。募金箱は引き続き市役所1階玄関に設置しており、保健福祉課③番窓口でも救援金を受け付けています。※受付期間は令和6年3月末まで。状況に応じて延長する場合があります。みなさんの温かい支援をこれからもよろしくお願いいたします。

●問い合わせ 保健福祉課福祉政策係 (☎85-7118)



▲トルコ・シリア地震の救援金も受付中。
詳しくは21ページに掲載しています